

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）タカサキケイザイダイガク	フリガナ）チイセイサクガクブ	フリガナ）ワカバヤシ タカヒサゼミ
高崎経済大学	地域政策学部	若林 隆久ゼミ

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）チームイオリ	フリガナ）イトウ イオリ	4	無
チームいおり	伊藤 允織		

研究テーマ（発表タイトル）
ネーミングライツの可能性～命名権の付与と高崎市のこれから～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

インナー大会はゼミナール活動をより活発にし、参加者のプレゼン能力の向上・データ処理スキルの向上を目指すために参加を希望した。研究テーマはネーミングライツの持つ地域性の高さを利用し、私たちの大学がある高崎市における財源の確保と地域活性化の一つの契機として活かすことではないかという思いから設定した。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

ネーミングライツは 1970 年代にアメリカで生まれた概念であり、スポーツ・文化施設等の名称に企業名をつけることがビジネスとして確立。アメリカの『リッチ・フリード社』が、NFL のチームの本拠地の命名権を得たことが起源とされる。日本に普及したのは 1990 年代後半でその初期の事例としては、東京スタジアムが味の素スタジアムになったことが挙げられる。現在ではスポーツスタジアムはもちろんのこと、体育館などの公共施設にも導入されるようになっている。

高崎市では、近年『再開発事業』がいくつか予定されており、かなりの集客が見込める施設の建設も予定されている（音楽センターなど）。そのため、新たな財源の確保が必要なのではないかと予想される。

『高崎市再開発事業』

- ・パブリックセンター（音楽ホール）
- ・高崎アリーナ
- ・東口超高層マンション
- ・コンベンションホール など…

3. 研究テーマの課題

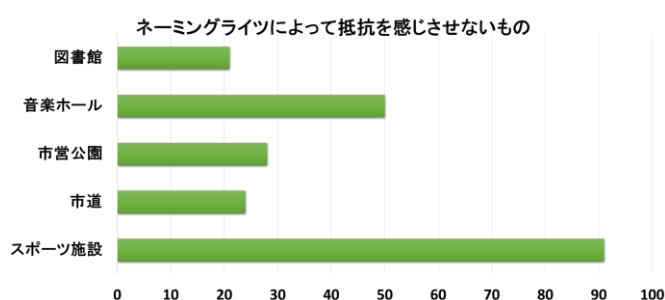
- ・高崎市において導入事例が少ない。
- ・地域住民の賛同が得られるかわからない。
- ・売却企業のイメージダウンによって、該当地域のイメージダウンが付随して起こる可能性がある。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

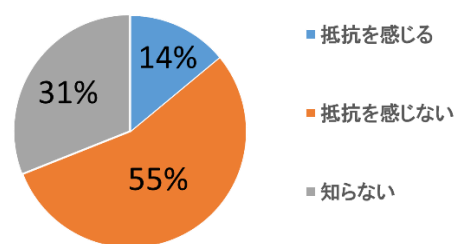
日本全国で様々な施設や場所（体育館・文化施設・スポーツスタジアムなど）にネーミングライツが導入され、地域の財政やその地域のイメージアップに貢献している。そこで再開発が進み、財政が決して充実しているとは言えない高崎市にとって、ネーミングライツから得た収入を、施設の拡張に充てることで地域住民が使いやすい施設を提供し、住民の理解を得る。導入事例が少ないので、ネーミングライツをつけられそうなものはまだまだみつかることが予想される。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- ・10代～20代の若者を中心としたアンケート調査の実施



ネーミングライツについて



- ・高崎市役所へのフィールドワークの実施（市役所職員へのインタビュー）

6. 結果や今後の取り組み

アンケート調査

→アンケートでは、地域住民の賛同を得られるかという問題の解決のため、ネーミングライツ設定の基準を自由回答していただいた。結果として「公益性が高いかどうか」といった、公共性の程度によって抵抗を感じるか否かの基準が変わることが分かった。

フィールドワーク

→高崎市における再開発事業の実態やネーミングライツの普及が進んでいないことなど現場の職員しか知らない生の声を聞くことができた。

今後の展望

→ネーミングライツを高崎市でも積極的に導入し、特に公共の施設への導入化を進めることで地域住民との結びつきを強め、その収益を施設の拡張や施設のPR活動に充てることで他地域からの集客を図り、市民の生活水準の向上を生み、それらの波及効果によって地域活性化の糸口を見出す。

7. 参考文献

『それをお金で買いますか』 著：マイケル・サンデル、訳：鬼澤 忍

高崎市役所ホームページ www.city.takasaki.gunma.jp

高崎市役所ホームページ 『都市集客施設整備室』（高崎市都市集客施設基本計画）

高崎市役所ホームページ 『高崎市新体育館基本計画』

iichiko 総合文化センター www.emo.or.jp

日本ガイシスポーツプラザ www.nespa.or.jp

名前の権利を売買！ネーミングライツって？ [マーケティング] All About allabout.co.jp

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。